

学校評価シート（自己評価）

上尾寿幼稚園

1、園の教育目標

躰・健康・個性を基本とし、健やかな園児の育成を目指す。
 躰→よい習慣を身に付ける（基本的生活習慣）
 他人に迷惑をかけない。
 健康→心身ともに健康（年間を通し、スイミング・体育指導などを行っている）
 個性→豊かな個性を伸ばす

2、具体的な目標や計画

- ・個々の子供の発達の状況を理解・把握し適切な保育を行う。
- ・保育指導専門の職員を中心に子供たちが喜んで体を動かせるよう年間を通して取り組んでいく。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
1 良い生活習慣（食事、着替え、排泄等）が身につくように指導しているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から取り組み、成長に個人差はあるものの、出来ることが増え、一人一人の成長は感じているが、全体を通してみるとまだ指導していかなくてはいけない部分もある。 ・特に食事のマナーや脱いだものの管理について、全体的に声掛けをするとともに個別にも指導してきたが、引き続きの指導が必要だと感じている。 ・好き嫌いや偏食については、保護者と相談しながらどこまで指導するかを考え、声掛けをしながら食事の習慣が身につくようにしている。着替えや排泄などは、個別に必要なことを指導するように努力している。 ・様々な場面で全体に伝えたり、個々の成長に合わせて声掛けをしたり、どこまで援助するか等を考えて対応している。
2 幼児が約束やきまりを守り、けじめを持って生活しているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・約束事や決まり事を守ることはとても大切な事なので、一つ一つ大切に取り組み指導している。学年が上がるほどしっかりと取り組めている。 ・日々の生活の中で一つ一つ理解できるよう繰り返し守ることの大切さを伝えているため、少しずつではあるが、自分たちで意識しようとする姿が見られるようになり、その時の状況により気持ちの切り替えられる子が増え、けじめのある生活を送れるようになってきている。 ・伝えなくてはいけない事はその都度伝えているが、自分の思いが先に立ってしまう子、守れない子が度々居ると、どう

		<p>伝えたら分かってもらえるかを考えながら日々保育を行っている。</p>
<p>3 幼児の生活が豊かになるような経験や活動、行事などを行っているか</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた制作活動や遊び、行事などを通し、家庭ではできない集団生活ならではの経験が来ている。 ・子供たちの五感を養えるよう、興味、関心を高められるような保育を日々心掛けている。 ・一つ一つの行事に向けて、皆で協力し取り組む気持ちなどを、子供たちと共感しながら行えた。
<p>4 幼児が互いの良さや頑張り認め合い、思いやりの心を持ち、生活できているか</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が率先して褒めたり、周りに伝えたりする事で、子供たちも互いに褒め合ったり、励まし合う姿が見られた。また、「ありがとう」を素直に伝えられるよう、保育者からも子供にお礼をきちんとするように心掛けている。 ・みんなの気持ちに気付けるよう、たくさんの言葉で子供たちに伝えている。たとえ難しくても伝えてゆく意味があると思うので大切にしたい。 ・”自分だったらどんな気持ちになるか”などを子供たちと一緒に考えたり、思いを言える機会を持つようにするため、様々な出来事を取り上げ、良い事にはそれを他児にも知らせ、皆で認めてあげている。
<p>5 幼児の興味を引きつける教材教具を準備しているか</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックや知育パズルなどを取り入れた事で、子供たちがとても興味を持ち取り組んでいる姿が見られた。パズルは上手くはめられるまで何度も挑戦したり、ブロックは相手にどうしたら勝てるかを考えるようになり、負けて悔しい子が勝てるように努力したり、上手な子はコツを教えてあげるような連帯感と成長が見られた。 ・年齢に合った物、その学年に合った物を考えて取り入れている。年間を通してできるだけ多くの異なる技法を用いた内容にし、廃材なども積極的に取り入れる事で、発想豊かな制作内容にしている。
<p>6 幼児が進んで行ってみようとする姿勢が身についているか</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・得意、不得意があるが、”もう一度”と思えるようなサポートをしたり、励ましの声を掛けながら取り組んでいる。 ・子供たちに合わせた一日の流れや活動を検討し、実行することで、一日の流れを覚え、各活動の準備が自分のできるようになった。 ・周りを手本に自ら進んで苦手な事にも取り組んでいる姿が見られ、日々の積み重ねの大事さを改めて感じられた。

7 幼児に応じた指導を工夫し、繰り返し指導や補助指導を行っているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差があるので、その子に合わせてどこまで援助するかを考え、自分で出来たという達成感を味わえ、積み重ねられるよう心掛けている。 ・一度出来たら大丈夫ではなく、どう伝えたら更に子供たちに上手く伝わるかを日々考えながら接している。 ・一人一人の個性に応じた指導を行えるよう、客観的に見ることも意識し、成果につながらない時には様々な方法を考え、試し、工夫している。
8 幼児が身の回りのいろいろなことに興味や関心を持っているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日常会話や絵本などを通して、季節や天気、些細な出来事にも興味や関心を寄せている姿が見て取れる。身近に起こる物事やニュースなどに対して自分の考えを伝えて来たりもする。 ・子供たちが興味を持ったことに対しては、それを受け止め、共感し、更に興味が広がるように心掛けている。また、興味を持ったことでもまだ少し難しい事などは、そばに付いての声掛けをしたり、少しだけ手を貸したりしながら、子供自身でできるように見守っている。 ・子供たちは様々な事に目を向け、保育者が気付かない事を教えてくれたり、いろいろな事に疑問を持ち、質問をして、興味を知識に変えている。
9 保護者に子どもたちの活動の様子を細かく伝えているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・登園や降園時に保護者とは積極的にコミュニケーションを図り、その日のエピソードや感じたことをなるべく多く伝えている。 ・バス通園の保護者に会う機会は少ないが、行事等で会える機会になるべく多くの様子を伝えるようにしている。 ・幼稚園のホームページより写真や動画を発信しているので、言葉では伝えきれない様子を保護者へ伝えられていると思う。
10 保護者からの意見を受け入れ、その意向に配慮しているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの質問や要望があった際は、自分一人での判断はせず、上司への相談、問題点を全体で共有して最善の対応ができるようにしている。 ・保護者の気持ちに寄り添うように心掛け、現在園で取り組んでいる事などもしっかり伝え、子供にとって何が一番良いのかを一緒に考えている。
11 幼児が安全で心地よく過ごす環境を整えているか		<ul style="list-style-type: none"> ・日々園庭や園舎で危険な場所がないかチェックし、修繕が必要であれば直ぐに依頼をしている。また、雨の日などはマットやタオルを敷くなど滑らないような配慮をしている。

	B	<ul style="list-style-type: none"> ・限られたスペースの中、子供の遊ぶスペースやじっくり取り組むスペースなどを配慮し、ストレス無く過ごせるような環境作りをしている。 ・2学期より保育室の壁と床が新しくなり、とても心地よい環境で過ごせ、綺麗な状態を保つような心掛けと行動ができた。
12 小学校との交流を行ない子どもや教育について情報交換をしているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの成長や配慮点などをしっかり伝えられるよう準備している。 ・年長児は小学校との交流会が有り、楽しみにしている様子が感じ取れる。 ・近隣の小学校への引継ぎ、交流会なども行っている。
13 園舎、園庭、用具、遊具等は使用しやすいよう整備し安全を確認しているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭や遊具、園舎などは各担当の先生がチェックを行い、危険な箇所があれば直ぐに対処している。又、担当以外の先生も各自でチェックをしている。 ・遊具の清掃や片付けの際には破損が無いかなどをチェックし、使用する前にも安全に使用できるか確認を行っている。 ・雨上がり時には遊具が濡れていないか、暑い日には危険な熱さに成っていないかなどを確認し、怪我なく遊べるよう事前のチェックを行っている。
14 防災、防犯に関する訓練を定期的に行っているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や防犯訓練は学期毎に行っているので、緊急時の対応については共有ができています。又、突然の出来事に備え、預かり時にも上履きを履いたまま過ごし、お昼寝の時にも近くに上履きを置くなど緊急避難時を想定している。 ・子供たちに解りやすいように紙芝居や絵本で伝えながら実際に想定し、しっかりとした避難行動、対応ができるようにしている。 ・訓練時毎に職員の配置状況、役割を確認し、円滑な避難誘導を繰り返し練習しており、突然の事態に備えている。
15 怪我や事故に関して連絡や処置が適切であるか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・すり傷などの軽度な怪我についてはしっかりと消毒をし、降園時に保護者に伝えている。頭を打った、口をぶつけたなどの怪我については上司に報告の上、判断と対応の指示を貰っている。 ・何かあった時には、報告、連絡、相談を徹底して行っている。 ・怪我があった時は直ぐに職員室に知らせ、適切な対応を取った後、怪我の大きさに関わらず保護者への報告を

		行っている。
16 職員それぞれが力を発揮し、各役割や各学年が連携協力しているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれに力が発揮されていると思う。準備や活動、片付け、反省まで、学年を越えてサポートし合えれば、手薄な部分を補って更に良く成ると思う。 ・自分が行える事や協力できる事は率先して声を掛けて動くようにしている。また、お願いしたい事がある時も、協力をお願いしやすい環境にある。 ・職員それぞれが自分の担当に責任を持って行っており、急な休みの職員が出ても協力をし合ってしっかりサポートした保育を行っていた。
17 研修に意欲的に取り組み、自らの資質を高めようとしているか	B	<ul style="list-style-type: none"> ・参加可能な研修には参加をし、保育に役立つ教材や資料などは日頃から集めたり、チェックするなどの情報収集をしている。 ・保育の資質向上の為、自らのスキルアップの為、より良い保育に取り組めるよう努力していきたい。 ・今年度は研修に参加をさせていただき、素敵なお話を聞けて良い経験をすることができた。このような機会を意欲的に増やして行きたい。
18 守秘義務が遵守されているか	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談、個人情報などは外部に漏れる事の無いよう注意し、要録やダイヤリーの持ち出しなどは注意事項を確認の上、取り扱っている。 ・プライベートにあたる情報などは基本的に職員の中だけとし、様々な事情を抱えている状況もあるため、常に高い意識で守秘義務を守っている。 ・守秘義務は厳守し、されている。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の課題にあった状況に応じた避難訓練を行うことにより、以前よりは 職員・園児が状況により対応できるようになったと思う。引き続き色々な状況を想定しながらの訓練を行い、職員の共通意識を高めていきたい。 ・行事の目標・計画については全職員で取り組み、概ね達成することができているが、近年異常気象（暑さ）のため、水遊び・運動会・秋まつり・園外保育などの指導案・保育内容など計画を見直す必要がでてきた。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
環境整備、安全対策について	令和6年度、壁・床・ロッカーをリフォームした事で保育室内が明るく過ごしやすくなった。ペランダ（廊下）の縁にスベリ止めを敷くことでだいぶ危険回避につながっている。しかし近年は対策のしようのない事故も多々ある。（何もない所での転倒等）原因の一つとして子供たちの歩行力や運動能力の低下が考えられるため、日常生活の中でそれらの能力を高められるように外遊びの充実や運動遊び（元気っこタイム）を取り入れ、子供たち自ら事故防止につながるよう取り組んでいく。
子供たちが自ら挑戦し、達成感を得るためには	集団生活を送る中で、子供自身が自分のやりたい事、得意な事、自信が持てる事などを見つけられるように、いろいろな経験を保育中に取り入れていく。

学校評価シート（学校関係者評価）

幼稚園	学校関係者評価委員会
日 時	令和7年3月6日（木） 10：30～11：30（時間）
出席者	評価委員（保護者）9人 評価委員（地域住民）1人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

- ・ 躰の面では、園児への指導はもちろん職員、先生方がいつも明るく挨拶をしてくれ、保護者の相談事や連絡事項に対し、丁寧に対応をしてくれとても満足している。
- ・ 評価項目はとても細かく幅広く設定され、適切だと思います。躰の部分で「他人に迷惑を掛けない」という文言を追求しすぎるあまり先生や友達に頼ったり甘えたりすることに躊躇してしまうのではと思いました。
- ・ 各項目ごとにととても丁寧に振り返りができていると思うが、評価項目が園の教育目標に対してのものか、具体的な目標や計画に対してのものなのか少しわかりにくかった。
- ・ 全体的に幅広く自己評価できていると思うが、学校評価という枠があるため学年別などで評価した際、違う評価につながりそうな部分も散見される。

2. 評価結果の内容は適切であったか

- ・ 園児一人一人を考えていてくれることが伝わってきた。先生方も子供たちのことを一番に考えていてくれたので、ほとんどがA評価で良いと思う。
- ・ 幼稚園のイベントや体操も一人一人の「がんばろう」「できた」を最大限に高めてもらう内容となっており、自己肯定感が高まったように感じる。園はいつも掃除がされており、大変清潔であると思った。遊具の管理もしっかりされている。
- ・ 親なら気にしないような小さなすり傷をして帰ってきたときにも、わざわざ連絡をしてくださるなど、すごく寄り添った保育をしてくださり、安心して子供を預けることができました。季節のイベントや行事など家では経験させてあげられない事を沢山企画実行してくださり、子供も親も楽しく過ごすことができました。
- ・ いろいろな変化に合わせて見直すことは良いと思います。
- ・ 職員の個性が活かされ、声を掛け合いフォローしている姿を多く見掛けるので、項目16はAでも良いと思う。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

- ・いろいろな意見はあると思うが、怪我の未然防止を意識しすぎるあまり子どもたちの遊びや行動に制限をかけすぎる事は、子どもたちの成長を妨げると感じている事から、園の設定する取り組みについては素晴らしいものだと感じている。
- ・安全対策はハード面だけでは賅えないので、子どもたちの運動能力にも着目してところが良いと思いました。最近は何人かと比べない、順位は付けないといった風潮がありますが、悔しい思いをすることも必要、大切だと思うのでそれをバネに色々な事に挑戦していけるような経験を沢山していただければと思います。
- ・設定をもう少し細かく分け、取り組み方法を挙げていけば良いと思った。
- ・学年別などで、設定されていないため明確ではない部分もあると思う。課題は尽きることがないため、一つ一つの課題をより明確にすることで園全体の向上に繋がると感じる。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

- ・縄跳び、跳び箱、逆上がりチャレンジで達成感を子どもたちは得ている。できる子ができない子にコツを教える、応援することで挑戦を頑張ろうとする意欲向上効果も出ており、素敵な経験が保育中にある。日頃から先生方が自然にしている事を子どもたちは見て学んでいるので、今後とも続けて欲しい。
- ・子どもたちが挑戦（跳び箱、鉄棒、かけっこなど）し、目標に達しなかった場合どのようにフォローし、次に繋げていくかが具体的に挙げられると良いと思った。生活習慣については、保護者も巻き込んで一緒に取り組んでいけたら良いと思う。イベント前など先生方も多忙で大変だろうなあと考えた。職員の方の健康も守られるように今後も取り組み、頑張ってもらいたいと思った。
- ・子どもも保護者もとても楽しく三年間過ごせて、たくさんの良い思い出が作れました。・子どもたちの歩行力や運動能力向上においては、いろいろな方面からのアプローチをしていただき、楽しみながら取り組んでいると思います。ただ、多方面という意味では次年度からスイミングが無くなってしまうのは大変残念に思います。
- ・子どもたちが自ら挑戦し、達成感を得るためにはの具体的な取り組み方法で、もう少し詳しく保護者にも内容が伝わると良いと思う。・多種多様性という言葉が飛び交う現代社会において、日々奮闘しながら対応してくださっている園の職員、関係者の方々には感謝しかありません。
- ・日常生活の中で運動や外遊びを楽しんだり、文字の読み書き練習や作品製作など様々な体験をしている事から課題項目に沿った教育をしてもらえていると感じている。
- ・なわとび、鉄棒、跳び箱など色々な検定があり、子どもも合格したいがために練習を頑張っており、挑戦することの楽しさを感じていたように思います。また苦手な事にも気付くことができ、自身の課題のようなことも見つけていました。